



校長室より

日曜日の早朝、突然大きな牡丹雪が降りました。一日で一番気温の低い時間帯だったこともあって、あっという間に一面の銀世界となりました。車の通らない道路も真っ白になり、ちょっと運転するのを躊躇するほどでした。観光客の方も、傘を持っているのは半分ぐらいで、傘のない人は頭から真っ白です。「伊勢は暖かいと思ってたのに」なんて言葉も聞こえてきました。

このあと、慎重に運転しながら国道に向かいました。もちろん国道はたくさんの車が通行していますから、雪はかけらもありません。でも、分離帯の植木や道路横の樹木は真っ白です。ところが、



車に積もった雪



校庭の花壇に積もった雪

倉田山近くになると、景色は段々と白色から緑へと変化していきます。御園小周辺では、もうほとんど雪はありませんでした。わずか車で20分足らずの場所なんですけど、びっくりするほど雪の降る量が違っていたのです。よく朝熊山の近くは雨が多いと言いますが、本当にそうなんです。正確な情報はわかりませんが、少なくとも同じ市内でも、天候が大きく違うことだけは事実のようです。

校庭の花壇の芝生に、雪が残っていました。この日は休日ですから、子供たちはいませんでした。もし普段の日なら、きっとミニ雪合戦になっていたことでしょう。もちろん月曜日を待つこともなく、昼前には消えてなくなっていました。

たぬきの糸車

「むかし、ある山奥に、きこりのふうふがすんでいました。やまおくの一けんやなので、まいばんのようにたぬきがやってきて、いたずらをしました。そこで、きこりはわなをしかけました。ある月の綺麗なばんのこと、おかみさんは、糸車をまわして、糸をつむいでいました。キーカラカラ キーカラカラ キークルクル キークルクル ふと気がつくと、やぶれしょうじのあなから、二つのくりくりした目玉が、こちらをのぞいていました。」



糸車の実演を見る子どもたち

1年生が国語で学習している、たぬきの糸車の一節です。でも、一年生の子どもたちは、糸車を知っているのでしょうか？大人だって、見たことのない人の方が、圧倒的に多いで

すよね。そこで、ゲストティチャーの方お二人に来て頂き、実際に糸車で糸を紡いでいただくことになりました。はじめて見る糸車などに、子どもたちは興味津々です。実際に体験もさせていただきました。みんなちょっと緊張しながらも、うれしそうに糸車を回していました。最後には、綿と種をいただきました。この体験で、「たぬきの糸車」という教材が、もっともっと身近で楽しいものとなることでしょう。

時代の変遷とともに、消えていく道具や風習などがあります。でも、童話や小説には、その作られた時代に使われている物や考え方などが色濃く反映しています。物語と現代とのギャップを埋めていくこと・・・これからますます多くなっていくことでしょう。

寒い日が続いています

大寒を過ぎ、一年中で最も寒い時期になりました。そここの田んぼや水たまりにも、けっこう厚い氷が張っています。そういえば、12月に氷が張りはじめたころは、登校中の子供たちが、競って氷を学校へ持ってきました。とてもうれしそうに、「こんな厚い氷があったんやよ。」と私に見せてくれたものです。ところが、今はもう誰も氷を持ってきません。それほど、毎日のように冷え込み、氷が珍しくなくなったからなのでしょう。



水たまりに出来た氷

寒くて空気が乾燥した日が続いています。こんな時期は、とにかくインフルエンザの流行が心配です。今年も、市内の中学校や幼稚園で、学級閉鎖が出ています。今年の特徴は、一気に罹患者が増えることだそうです。金曜日に誰も罹患してなくても、月曜日には学級閉鎖なんて例もあるそうです。手洗いとうがいだけで防げる訳ではありませんが、とにかくそれが最も身近で、有効な手段であるとすれば、実行していく必要があります。どうぞ皆様もご注意ください。大人にも流行が広がっています。

☆☆☆ 手洗い うがい 水分補給 ☆☆☆

プールろ過器工事のお知らせ

この度、本校プールの濾過器（水をろ過してきれいにする機械です。）を取り替えていただくことになりました。濾過器はプールに隣接した、新体育館横の倉庫様の建物内に設置してあります。期間は下記の通りですが、準備工事や調整等で、多少延長する場合があります。この間、新体育館前と、プールとの境の駐車スペースのいくつかは、重機等が出入りするため、使用できなくなります。（カラーコーンを置いてご案内します。）いろいろとご迷惑をおかけいたしますが、よろしくご協力下さい。なお、プール周辺に多少の機材を置きますのでご注意ください。（学級園への通路周辺等）

工事期間 2月21日(金) ～ 3月4日(火) ※土日を除きます。

工事時間 午前9時頃 ～ 午後5時頃まで ※多少前後する場合があります。